

「移動電源車」
ベトナム進出の記事が掲載されました

2013年12月24日 日刊産業新聞掲載

移動電源車 越で生産

グループ企業と連携 年間20台目指す

神鋼造機

【大垣】神戸製鋼グループの神鋼造機（本社：岐阜県大垣市、米谷剛人社長）は来年中



をめぐり、ベトナムで移動電源車の生産体制を確立し、同国内で本格的な営業活動を展開する。現在、現地ニーズに沿った仕様の移動電源車を開発中で、進出済みのグループ企業と連携し、現地で生産を行っていく考え。2015年をめぐりベトナム国内で年間20台の

生産を目指す方針。ベトナムは急速な経済成長の影響で、慢性的な電力不足に悩まされている。また、不十分なインフラのため電線工事などによる停電も頻発しており、早急なバックアップ電源の確保が求められている。同社は2年前からベトナムに進出、マーケティングを進めてきた。12月2～5日には、現地の政府高官や電力・通信系企業を対象にセミナーを開催。移動電源車の特徴解説のほ

か、九州電力やNTTなどから実際の使用事例などを報告した。質疑応答では質問が相次ぐなど、高い関心が寄せられた。セミナーなどを通じて市場調査の結果、現地では国内で使用している電圧より、低い電圧へのニーズが高いことが判明。それを受け、国内と仕様を変更した電圧80～100kVAの廉価版を、新興国の戦略製品として開発を進めている。来年中にグループ会社と連携し、デマコ機用移動電源車をベトナム国内で生産する考え。

同社は国内2大移動電源車メーカーの一つで、1963年から生産をスタートするなど移動電源車のパイオニアとして知られる。累計生産台数は900台超。13年度の国内生産台数は50台前後となる見込みで、ここ数年、堅調な生産が続いている。